

私はこの本を読んで、人間はこの世に生きているだけで素晴らしい存在であり、それを理解することから出来ると学び、もっと自分を大切にすることを生きていきたいと感じました。自己否定したり、ネガティブに考えちゃうのはよく、まがり起こつた事柄について、またその思考の仕方について、またそこから自己否定や自己嫌悪を感じてしまうことなどに對し、そんな自分を認め、全肯定し、否定的にはなく肯

定的に考える癖をつけていきたいと感じました。また、全ては自分で望んで、自分で選択をしとましているし、やっぱりこの世にまかせているだけで素晴らしい存在し、愛は私そのものしとあり、自分を愛おしく感じました。自分ほいまこの時間を過ごしているだけでよく、もっと大きな宇宙の力が働き、その上で自分がまかせた、経験をあるために生を受けていることに感謝をして、魂と会話をしながら自分が果たすべき使命を探し、目的を達成して

けるよう、一日一日を大切に過ごしていきな
いと感じました。

又母と子の「絆」についてモ色々書いて
あり、今後子供を授かる可能性もある中で、
とても勉強になりました。愛について「条件
つきに愛してしまっ
ていふことが多
い」又
自分か認められた
という気持ち
を子供に
向け、子供の為
と言いつつ、
実は自分の為
の行動になっ
ていふとあり、
私は今のま
までは
こうなっ
てしま
うのだら
うなと感
じまし
た。

その為に我ではなく魂を大きくしていきけるよ
う、感謝を意識するようになり、自分で自分
を満たし、自分で幸せにあることを癖づけて
いく必要があると感じます。そしてそこから
利他の精神を養っていきたいと思います。
又「愛が世界を癒すエネルギー」であり、愛
こそが最大の力とありました。それを行
動としていくこと考えると、ついそうは
なことを考え
てしま
いがち
ですが、
そうでは
なく
身の回りの一つ一つの出来事に対し、愛を持

て、悪いヤリの気持ちを持つて、自分にも周
りに接し、そこから少しがっかりしている
ように行動していきたいと思います。また新し
いことにも恐れずチャレンジをし、様々な経
験をあることで満足して人生を終えられるよ
うにしたいと感じました。